

平成28年度インフルエンザ予防接種日程のご案内

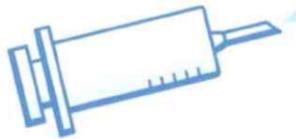
	成人	小児
期間	平成28年12月27日(火)まで	平成29年1月31日(火)まで
曜日	火・木・金	火・木・金
時間	14:00~ (受付 12:30~14:00)	火・木 14:30~15:30 金 15:30~16:30
費用	公費 2300円 (横浜市在住65歳以上) 自費 5450円	自費 1回目 5450円 2回目 1080円

【予約受付時間】

月～金 9:00～13:00
14:00～17:00
土 9:00～12:30

※1歳以上が対象となります。
※1歳以上13歳未満は2回接種
13歳以上は1回接種

正面受付にお越しいただくか、お電話で
ご予約できます。代表:045-921-6111



IMSグループからのお知らせ

医療・介護のことでお悩みはありませんか?

IMSグループイムス総合サービスセンターが、
みなさまからの医療・介護のご相談をお受けいたします。



来訪もしくは、お電話かホームページ(メールフォーム)よりお問合せください。

0800-800-1632 03-3989-1141(代表)

※「050」からはじまるIP電話および国際電話からはご利用いただけません。

受付時間/平日8:30~17:30 土曜日8:30~12:30(日祝・年末年始休み)

<http://www.ims.gr.jp/gscenter/>

〒170-0013 東京都豊島区東池袋 1-21-11 オーク池袋ビルディング 8F

【受付時間】

平日:8:00~12:00(診療開始9:00より)
12:30~16:30(診療開始14:00より)
土曜:8:00~12:00(診療開始9:00より)
休診:日曜・祝日

【24時間救急応需】

救急の場合は24時間体制で随時対応いたします。
来院する前に必ずお電話でご確認ください。

あさひだより

発行/横浜旭中央総合病院 広報委員会
〒241-0801 神奈川県横浜市旭区若葉台 4-20-1
IMSグループ 医療法人社団 明芳会
横浜旭中央総合病院
TEL:045-921-6111
FAX:045-922-2720
<http://www.ims-yokohama-asahi.jp/>

あさひだより Vol.19

2016年11月

横浜旭中央総合病院

「プラザイムスは、患者さま、ご家族のみなさまに院内やIMSグループの医療活動、病気に関する情報をお伝えするコミュニケーションペーパーです。」

仙骨神経刺激療法(SNM)

～便失禁に新たな治療の選択肢を～

便失禁について

便失禁とは、自らの意思に反して社会的・衛生的に問題となる状況で便が漏れる症状と定義されています。便失禁の原因はいくつかありますが、その一つとして排便に関する筋肉の機能の低下です。肛門は2種類の筋肉に取り巻かれています。一つは意識して動かせる外肛門括約筋で、この筋力が低下すると収縮力が弱まり、便失禁の原因になります。もう一つは内肛門括約筋は無意識のうちに締めている筋肉のため、この機能が低下すると直腸内の粘液や少量の便が漏れてしまいます。筋力が低下する原因は主に加齢ですが、女性は出産経験も影響します。

便失禁の頻度は65歳以上で7.5%で、人口構成から算出すると本邦では500万人もの人が悩みを抱えていると推測されます。便失禁は程度が軽くても、生活の質を大幅に低下させる為、外出を控えるようになる方もおり、引きこもりに繋がるケースもあるようです。便失禁で悩む方の9割が、羞恥心より病院を受診しないという報告もあり、孤独に悩む患者様が多いのが実情です。我々はそのような患者様の力になりたいと考えています。

肛門外科

白畑 敦

仙骨神経刺激療法(SNM)

当院では、患者様に合った治療法を模索していますが、薬が効かないなど内科的治療がうまくいかない患者様、つまり保存的療法でも改善しない場合は『仙骨神経刺激療法』を勧めています。仙骨神経刺激療法とは、心臓ペースメーカーに似た小型の刺激装置を用いて、排泄を司る仙骨神経に継続的な電気刺激を与えることで、症状の改善を図る治療方法です。欧米では、便失禁に対する有効な治療方法のひとつとして20年程前から実施されています。

この治療方法の特徴は、体外式の神経刺激装置によって試験刺激を行い、治療効果を確認してから神経刺激装置の植込みに進む事が可能です。体内(臀部)に神経刺激装置を植込み、継続的に神経刺激を行います。もしも試験刺激で効果が得られなかった場合には、治療前の状態に戻す事が出来ます。小さな手術(局所麻酔手術)は必要ですが、低侵襲治療で合併症もほとんどなく、高齢の患者様でも安全に行えます。2~3泊の入院で済む為、身体的・精神的な負担が少ないことも特徴の一つです。

2014年に医療保険の適応となった最新治療で、当院では2016年7月に導入しました。神奈川県で3施設目となります。臨床試験では便失禁の改善率80%(完全治癒20%)の画期的な治療です。



排便機能外来のご案内

便秘や下痢でお悩みの患者様に対して原因を精査し正常な排便機能が維持されるよう治療します。たとえ慢性便秘症、過敏性腸症候群、機能性ディスぺプシアなど、現代病と言われる病気にも専門的に加療致します。

便失禁なら便失禁ならびに排便に関する症状について、お悩みの方は是非ご受診下さい。並びに排便に関する症状について、お悩みの方は是非ご受診下さい。丁寧にご説明致します。

腎臓内科に新しい医師が赴任しました！



腎臓内科
吉田 典世

10月から赴任しました吉田典世と申します。昭和大学横浜市北部病院およびその関連施設にて研鑽を積んできました。各科診療科、グループ病院と協力しつつ、場合によっては近隣大学病院とも連携して診療を行ってまいります。地域に根ざした医療に貢献できるよう努力していく所存ですので、よろしくお願い申し上げます。

腎不全はどういう病気？

腎臓の働きは、血液中の老廃物を尿に溶かして体外に排出したり、ミネラルなどを調節したり、血圧の調節をするホルモンを作ることです。この働きが損なわれた状態が腎不全です。腎不全が進行し慢性化すると腎臓の機能が元に戻ることは期待できなくなるため、進行をできるだけ遅らせるのがとても重要になってきます。糖尿病、高血圧症、慢性腎炎、高尿酸血症、脂質異常症など原因となった病気をコントロールするために投薬や食事、生活改善といった手法を用います。

また、腎機能が大きく損なわれたときは透析をスタートします。透析とは、腎機能が低下した患者さんの血液を、専用の機械を使用し浄化する医療行為です。維持透析とは週3回ほど定期的に透析を行うことです。

当院の診療内容について

透析を行う血液浄化療法センターには32床のベッドがあり、毎日多くの透析患者さんがご利用されております。また他院で維持透析を行っている緊急対応が必要な患者さんの受入を積極的に行ってまいります。その他にも毎週月曜午後に腎臓内科として外来診療も行ってまいります。

こんな症状のときは受診をしてください

腎不全の初期は無症状のことが多いです。そのため健康診断や日々の受診の際の血液検査などで腎機能に異常が認められたときはご相談ください。

骨密度測定装置を新規導入しました！

平成28年10月7日より新たな骨密度測定装置(DEXA法)が導入されました。

骨密度検査は骨粗鬆症の精密検査や、治療効果の経過観察、また骨折の危険性予測に有用なものです。

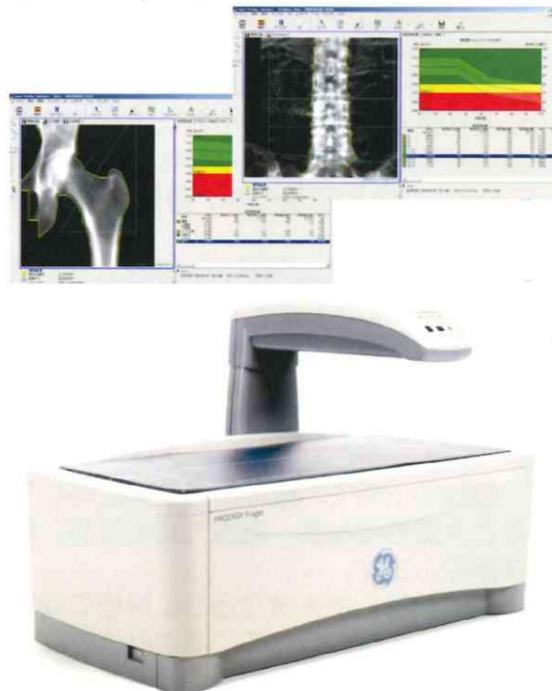
DEXA法とは

2種類のエネルギーのX線を測定部位に当てることにより骨成分を他の組織と区別して測定する方法です。

測定する骨は腰椎と大腿骨頸部(股関節の骨)になります。検査方法は専用の装置に寝て頂くだけです。測定時間が短く(約5分程度)放射線の被曝量も極めて少ないという利点があります。現時点ではDEXA法が最も信頼の高い骨量測定法になります。

骨粗鬆症で治療中の方、閉経後の女性の方、危険因子(喫煙、飲酒、運動不足)を有する方にはDEXA法での骨密度測定をお勧めします。

ご興味のある方は健康管理室にお尋ねください。



～風邪予防レシピ～

豚肉に豊富なたんぱく質とかぼちゃに豊富なビタミンでのどや鼻の粘膜を守り、風邪を防ぎましょう！

かぼちゃの肉巻き

【材料】2人分

- 豚もも薄切り肉 8枚(120g)
- かぼちゃ(皮むぎ) 200g
- コンソメ顆粒 小さじ1/2
- 酒 大匙1/2
- 油 適量

【作り方】

- かぼちゃはくし形に切り、耐熱皿に入れて、ラップをかけて電子レンジ(500W)で2分加熱する。粗熱がとれたら、かぼちゃを豚肉で巻く。
- フライパンに油を入れ、かぼちゃの肉巻きを並べて火にかける。両面を焼く。
- コンソメと酒で味付けする。

【1人分栄養価】エネルギー：217kcal たんぱく質：15g 塩分0.3g



認知症の方の生活を支える作業療法

近年、認知症への関心が高まり、メディアでも多く取り上げられています。厚生労働省によると現在、認知症高齢者は462万人いるとされており、2025年には700万人に達すると言われています。これは65歳以上の高齢者の5人に1人が認知症に罹患する計算になります。本号では、認知症と物忘れの違いや認知症の症状、認知症と作業療法についてお話しします。

＜認知症と物忘れって何が違うの？＞

認知症は記憶力の低下が主体であり、老化による物忘れと認知症による物忘れを区別する必要があります。また、認知症の症状は進行していくことで日常生活に支障をきたすことがあります。

＜認知症の症状ってなに？＞

認知症には「中核症状」と「周辺症状」があります。中核症状とは、認知症の中心的な症状であり、周辺症状は、中核症状によって引き起こされる二次的な症状のことです。周辺症状は介護負担の一番の要因とも言われており、薬物療法やリハビリテーション、適切な対応にて改善することがあります。作業療法士は、何らかの障害により日常生活に支障をきたした方に対し、主体的な生活の実現に向け支援をしていきます。特に認知症の方に対して、作業療法士は、その方の人生の歩みや趣味などを把握した上で、その方が生活しやすいよう支援をしていきます。

認知症を考える上で、「認知症＝何もできない人」ととらえるのではなく、認知症がありながらも「その人らしく生きる」ことができるよう地域でサポートをしていくことが重要です。また家族も無理なく、生活ができるよう環境を整えることも大切です。近年は近所付き合いが希薄化していると言われていますが認知症支援においては地域での支え合いが求められています。一人でも多くの方が認知症を理解し、ともに生きる環境づくりがなされるようともに取り組んでいきましょう。

当院の作業療法部門では、認知症支援チームが発足し、地域の皆様と共に認知症のより良い支援に向け、取り組んでいきたいと考えています。

認知症	老化による物忘れ
<ul style="list-style-type: none"> 体験全体を忘れる 名前や場所、時間を正しく認識できない 日常生活に大きな支障をきたす 	<ul style="list-style-type: none"> 体験の一部を忘れる 名前や場所、時間はほぼ正しく認識できる 日常生活に大きな支障をきたさない

周辺症状

- 金銭管理ができない
- 「財布が盗まれた」と言う
- 眠りにつけない
- 急に泣く、怒る
- 中核症状
 - 覚えられない
 - 人や時間、場所がわからない
 - 問題を解決できない
- 介護に抵抗する
- 片付けられない
- 買い物に行き帰れなくなる

